

2022年度 一般社団法人 大曲青年会議所
青少年まちづくり委員会 年間事業計画
蒔かぬ種は生えぬ

青少年まちづくり委員会
専務理事 熊谷 拓也

大曲J.Cは創立50年を迎える本年に至るまで、目まぐるしく変わる社会情勢の中、その時代の課題を的確に捉え、柔軟に対応し、明るい豊かな社会の実現に向け、大仙郷住民の心を動かす運動を展開してきました。地方創生の重要度が増すポストコロナ社会においても持続可能な社会の実現に向け、49年間培ってきたノウハウと人脈を最大限に活かし、すべての住民がこの故郷を想い、未来の創造できる大仙郷を築き上げる必要があります。

まずは、これからも大仙郷で必要とされる組織であるために、各事業において地域とともに運動展開を図り、アクティブシチズンフレームワークを体現し、得た人脈を会員拡大活動へとつなげ、持続可能なインパクトを生み出します。そして、青少年が大仙郷で自分の居場所を見出すために、地方創生について語り合い、青少年目線で地域課題の抽出を行うとともに、課題解決に向け行動する環境を創出し、地域に対する誇りと郷土愛を醸成します。さらに、大仙郷に根付く伝統文化を継承するために、地域資源を活かした第14回全日本残月花火選手権大会を開催し、世代を超えた交流を図り、地域の宝としての存在意義を高めます。また、清らかで美しく自然豊かな大仙郷を維持するために、地域住民の参画を積極的に促し、共にクリーンアップ運動を行い、地域に住まう者としての責任感と環境保全意識を高めます。そして、未来を担う青少年の心身共に健やかな成長を育むために、秋田ブロック協議会が主管するスポーツ事業への積極的な参加と協力を行い、勝敗分け隔てなく最善の振る舞いができる人間力の形成を促し、道徳心を醸成する一助となります。

偉大なる先輩諸賢が咲かせ続けてきた郷土愛溢れる49輪の花は、本年一つの集合体として大輪の花となり、その種で新たに芽吹き、新たな花となる青少年の育成は永続的な運動を可能なものとし、大きな愛で包み込まれた仙北平野は持続可能な故郷へと昇華します。

【事業計画】

1. 会員拡大に関する事項
2. 青少年育成事業の企画・実施
3. 広域的・公益的な地域発展に関する事項
4. その他青少年育成に関する事項
5. その他地域発展に関する事項
6. 秋田ブロック等が主管するスポーツ事業への支援・協力
7. J C説明会の会場設営に関する事項
8. 大曲 J C ホームページ及び SNS へ掲載する原稿の作成